

新しい風ニュース NO 253

やまがたの環境とくらしを考える会 (通巻291)

岐阜県山県市西深瀬208 TEL・FAX 0581-22-4989

なんでも相談 どの政党とも無関係の 寺町ともまさ 2012年4月7日

毎日、千数百のアクセスがある私の日記(ブログ)は「てらまちねと」で検索

HP ⇒ <http://gifu.kermin.net/teramachi/> ご意見は、メール ⇒ tera@ccy.ne.jp

さて、今回のニュースは、ここのところいただいた声などにお答えします。

なにごとにも世代交代を！ 議員も世代交代を！

【市民の声】 地域のことなど、特に、古い考えにこだわる人たちは引いてほしい。

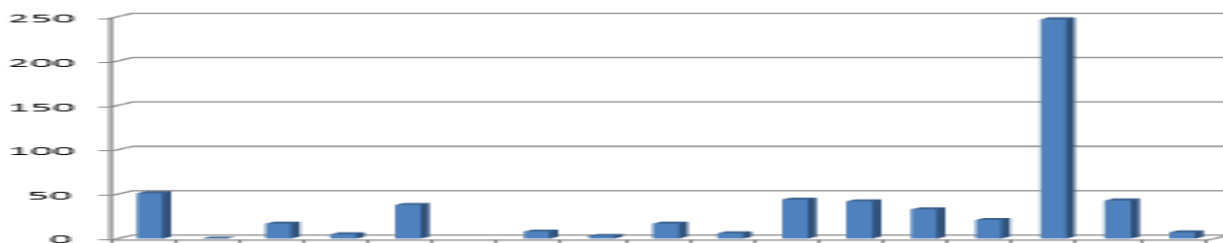
【市民の声】 以前の選挙で「世代交代」を訴えて替わった人が、今では「高齢」。それでは、スジが通らない。スジが通らないことをする政治家は、信じてよいのか疑問。

【市民の声】 「介護される世代を代表する」などを訴えて政治をするのは高齢な人がいても当然。でも、通常は、高齢になれば、一線を画していくのが自然だ。

【市民の声】 議員は議会の報告書ぐらい配って、選挙で言ったこと、やったことを示すべきだ。それをやっている人はほとんどいない。やっていない人はだめだ。

これが市議会の事実／勇退・年齢・発言数⇒世代交代の好機

市議会の2008年6月～2011年3月までの本会議場での質問回数の合計(定例会中間日議案質疑)。(1年前の議席表)(議席番号は「在職期数」ごとに「年齢順」で決めるのが議会の慣習)



質問合計	51	0	17	5	38	8	3	17	6	44	42	33	21	247	43	7
氏名	久保田均	谷村松男	田垣隆司	宮田軍作	小森英明	後藤利てる	村瀬伊織	影山春男	杉山正樹	藤根圓六	上野欣也	横山哲夫	武藤孝成	寺町知正	尾関律子	石神真
議席番号	16	8	7	6	14	11	15	10	3	13	1	5	9	12	4	2
年齢	80	75	70	70	69	74	73	72	69	68	67	64	62	58	55	54
引退	●	●	●	●	●											

(3月末までに)ご本人とのお話で「引退」の意思確認のできた方に「●」を付しました。

★(私がお聞きした「引退する方」のお話から)

「議会で質問するには、やはり、気力と体力がいる。年とともにそれがなくなって、このところ質問をしていない。潮時(しおどき) / 「(議会関係の書類の)『細かい字』を読むのが苦手になった。こころで、だ / 「元気なうちに身を引こうと思ってきた」

定数2減。引退者が多いので、世代交代の時期。好機。有権者の判断に期待。

政策集の「おなみ桜」はどこですか？ いつ咲きますか？

私が、お届けした政策集にある「桜」の写真に関して、「場所はどこですか？ いつ？ ぜひ、見に行きたい」とのお問い合わせがありました。根尾の淡墨桜と姉妹桜です。地元の人にお聞きしたら、今年は、予測しにくいけど、淡墨桜が4月15日頃だということで、同じころだろう、とのこと。場所は、美山の谷合から西へ、本巣方面にずっと行って、葛原の家並みを過ぎて数百メートル行った左側、乳児（ちご）の森公園です。すばらしいところですよ。

選挙公報のHP掲載 認める／総務省 2012/03/29 【共同通信】

総務省は3月29日、候補者の経歴や政策を紹介する選挙管理委員会発行の「選挙公報」について、これまでの印刷物による戸別配布に加え、自治体のホームページ（HP）への掲載を認める通知を、都道府県を通じ全国に出した。これまでは各戸の郵便受けへの投げ込みや、新聞折り込みでの配布が主体で、HP掲載については可否が明確になっていなかった。インターネットの普及に伴い選挙啓発のためHP掲載を認めるべきだと判断した。今後HP掲載は各選管が選挙ごとに判断。並行して戸別配布もこれまで通り行う。

今回実施すれば たぶん 県内1番、東海でもトップランナーに

【寺町のコメント】 つい先日3月29日、国が上記のような新しい方針を全国の自治体に通知しました。選挙公報のネット掲載の意義は、早く見れる、どこにいても見れる、だれでも見れる、などです。「投票率を上げる」ため、「適切な情報発信」をし、「選挙への関心を高める」ことは重要。大きな選挙なら「政見放送」「候補者討論会」などもあります。議員選挙では、難しいこと。そこで「候補者の政策」などを載せた「公報」は重要な情報源です。

山口市は、市を宣伝する絶好のタイミングです。なぜなら、今、ちょうど選挙にあたる自治体はほとんどないので、「山口市は公報をネット掲載する」と公表すれば、「先がけ」として、新聞などが大きな見出しで扱うことは確実だからです。注目されます。

宣伝のために新聞に広告を出したら、広域であれば、少しのスペースで数十万円、大きければ〇百万円の料金です。市のいろいろな仕事の意思決定の仕方で「市の宣伝力」が高まるなら、私は、どんどん取り入れるべきだと思います。

スピード感のある意思決定 と 行政の宣伝力 の 時代

そもそも、ホームページ（HP）に掲載すること自体は、とても簡単な作業、費用もほぼゼロ。日頃より、投票率を上げようと予算をつかって宣伝しているのですから、迷うことはありません。市民も「良いこと」で新聞に出るのは、うれしいことです。

市の財政は厳しい。だからこそ、職員の知恵と工夫で、「お金をかけずに宣伝する」意識は、とても大事です。いろんなことで「山口市」をPRしてほしい。新聞に出るような話題になる新しいことをすれば、「広告料」もいらず超節約型で「山口市」の宣伝ができます。

市長や市役所職員は、常に、そんなセンスや発想を持ち、活用・発揮すべきです。

今回も、「山口市の宣伝」の好機を逃すとしたら、大きな問題、失政です。

清潔で公平な政治に転換 ところんグリーンな山県市政へ

【市民の声】 市民が何か悪いことをしたわけではない。「議員らの公人」や公務員が問題を起こして、新聞に出たりする。刑事事件など、もうごめんだ。

【市民の声】 支えたえた自分たちを裏切って、自分の利得のために不正をした人物を忘れることはない。そう、みんな話している。

【市民の声】 個人はともかく、公人が不正で刑事事件を起こして、しかも、認めた人が政治に復活するのは絶対許さない。人を愚弄（ぐろう）するのもいい加減に！

汚職や不正は 個人の問題なのか 体質なのか

政治家や役人の贈収賄容疑は「個人の問題だ」という考えがあります。しかし、この地域の歴史(約6年ごとに逮捕者)を見ると、「行政、政治家の体質」というしかない状況です。

◎1985(S60)年、生コンクリート業界の汚職で山県郡選出のSi県議の逮捕。

◎1991(H3)年、高富町助役選任に絡んで元助役からの現金供与で現職町議ら3人逮捕、他方で、Ta町長は「政治献金」との主張を崩さずに容疑を免れた。

◎1997(H9)年5月、高富のSu町長が業者からの賄賂で逮捕。(ニュース83号)

◎2002(H14)年5月、高富のYa町長が業者の賄賂で逮捕。「政治献金」工作も

またもや町長逮捕！(2002年5月14日付「新しい風ニュース号外」から) ↓

●●氏については、ずっと前から、いずれはこうなる、とみられていました。

県警は、以前から精力的に町長の周辺の情報収集に入っていたようです。1年前は、町内の農業用水工事に関連しての疑惑。ただ、これは名目上「国から民間の用水組合への事業」であったので、町長に職務権限が見いだせないことからあきらめたようです。

そして、誰もが(●●氏の支持者ですら)強い疑問をもったところの、町長就任数年にしての立派な自宅の新築。●●氏がT県議と一緒に作ったK警備会社も、支持者Tに代表権を譲ったことになっていますが、不透明極まりなく、解明が待たれています。

●●町政に変わった翌1998年から突然、高富町の公共事業を多額に受け始めた★組、そこに密着の▲建設。■建設を元請けに、両社が自宅建築にかかわったことは以前から本人が公然と認めていたことです。他にも、98年に突然数億円の事業を落札し始めた◆建設。今回の容疑の「げんきはうす」もこのあたりが落札するだろうとみられていました。しかし、意外なところが落札しました・・・(そして、逮捕される事件に)

あなたの倫理度チェック

不正が続いた山県市だからこそ どこに しますか

- いちいち気にしていたら、何もできない。適当に懐を肥やして、お金をまわせばいい
- 政治家の場合はやっぱり心配。そもそも、市民がいただいた不信感、不名誉感は消えない
- 政治家の犯罪には、政治的、道義的には「時効」はない。身を引くべき

補助金をもらって建てた公民館を選挙事務所に？！

【市民の声】 市議選の候補者から地区の公民館を貸してくれ、という話があり、役員らがOKした。公民館は、地区全体で使っているし、これでは、地区がその候補を推薦しているように見られてしまう。これは法律上おかしいのではないか。

【市民の声】 役場の補助金をもらって建てた地区の公民館を選挙事務所に使うなら、補助金は返還すべきだ。こんなことを放っておくなら、市役所は間違っている。

山県市の倫理条例には、次のような定めがあります。

○山県市議会議員及び市長等の政治倫理に関する条例(平成20年3月25日 条例第20号)
第3条 議員及び市長等は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

(6) 市及び特定団体から委託され、又は補助金を受けている団体等を自己の利益のために不正な方法で利用してはならない。

【寺町のコメント】 候補者はもちろんですが、市が、その建設を公金で補助した団体が、その施設を選挙に使うことを認めるとしたら、市長の倫理観も問われます。補助金返還は当然といえば同然の市民の声です。

あなたの倫理度チェック

- 今ある建物は有効に使えばいい。役員の決定があれば構わない
- 選挙に関しては、「地区推薦」と見られ得る行為は、全員参加の総会で決めるべき
- 納税者としては、「個人の選挙に貸す公民館」なら、建設の補助金は返してほしい

●私の約15年間の議員としての経験から、今後の「行政の改めるべきこと、やるべきこと、目指すべきこと」そして「まちの姿」を展望し、提案しています。ともかく、何をするにも財源が不可欠。山県市は合併してから、借金を5割増やし、公共料金なども引き上げ。私は、「職員人件費を30%削減」して財源を作ることを提案します。その「できた財源」、その他で、「市民の満足するサービスの向上」や「新しい事業」を提案しています。

市民の声は「議員が多すぎ」が圧倒的 ⇒ 定数・報酬削減を

私は、予算を独自に使えるように配分する「地域委員会」や「テーマ別委員会」で市民の身近で緊急な課題を解決すれば、議員の役割は、本来の『『全体的な視野』で『市の政策、条例づくり、行政の監視』、それらのプロ』になるということを提案しています。

- ◆ 人口3万人の山県市に見合った議員定数、報酬に削減する
- ◆ 活発な発言をする議会、市民を向いた議会、市民の納得する議会の実現
- ◆ 議論の積み重ねのために充実した議案資料を作成配布し議論の内容は市民に公表
- ◆ 市長べったり与党構造の弊害防止、議案に対する「議員別採決結果」を市民に公表
- ◆ 本会議、委員会のインターネット中継の開始（市のTV放送が廃止されたし）